

バーゼル級数

15 信大

(1) $a_n = \frac{1}{\pi} \int_{-\pi}^{\pi} x \sin nx dx (n = 1, 2, 3, \dots)$ とおくと、無限級数 $\sum_{n=1}^{\infty} a_n^2$ は収束し、

その和は $\frac{1}{\pi} \int_{-\pi}^{\pi} x^2 dx$ であることが知られている。これを用いて、無限級数 $\sum_{k=1}^{\infty} \frac{1}{n^2}$ の和を求めよ。

(2) 等式 $\frac{1}{x^2(x+1)} = \frac{a}{x} + \frac{b}{x^2} + \frac{c}{x+1}$ が x についての恒等式となるように、定数 a, b, c の値を求めよ。

(3) 無限級数 $\sum_{n=1}^{\infty} \frac{1}{n^2(n+1)}$ の収束、発散について調べ、収束するときはその和を求めよ。

$$(1) (-x) \sin n(-x) = x \sin nx \text{ なので } a_n = \frac{1}{\pi} \int_{-\pi}^{\pi} x \sin nx dx = \frac{2}{\pi} \int_0^{\pi} x \sin nx dx$$

$$= \frac{2}{\pi} \left[-\frac{x}{n} \cos nx + \frac{\sin nx}{n^2} \right]_0^{\pi} = \frac{2}{\pi} \left\{ -\frac{\pi}{n} (-1)^n \right\} = -\frac{2(-1)^n}{n}$$

$$\text{よって, } a_n^2 = \frac{4}{n^2} \text{ 題意より, } \sum_{n=1}^{\infty} a_n^2 = \frac{1}{\pi} \int_{-\pi}^{\pi} x^2 dx = \frac{2}{\pi} \left[\frac{x^3}{3} \right]_0^{\pi} = \frac{2\pi^2}{3}$$

$$\text{つまり, } \sum_{n=1}^{\infty} \frac{4}{n^2} = \frac{2\pi^2}{3} \text{ よって, } \sum_{n=1}^{\infty} \frac{1}{n^2} = \frac{\pi^2}{6}$$

(2) 分母を払って $1 = ax(x+1) + b(x+1) + cx^2$ が恒等式となるように、係数を比較して $a + c = 0, a + b = 0, b = 1$ よって、 $a = -1, b = 1, c = 1$

(3) (1) から $\sum_{n=1}^{\infty} \frac{1}{n^2}$ は収束するので、

$$(2) \text{ より, } \sum_{k=1}^n \frac{1}{k^2(k+1)} = \sum_{k=1}^n \left(-\frac{1}{k} + \frac{1}{k^2} + \frac{1}{k+1} \right) = \sum_{k=1}^n \frac{1}{k^2} + \sum_{k=1}^n \left(-\frac{1}{k} + \frac{1}{k+1} \right)$$

$$= \sum_{k=1}^n \frac{1}{k^2} - 1 + \frac{1}{2} - \frac{1}{2} + \frac{1}{3} - \dots - \frac{1}{n} + \frac{1}{n+1} = \sum_{k=1}^n \frac{1}{k^2} - 1 + \frac{1}{n+1} \rightarrow \frac{\pi^2}{6} - 1$$

事実が知られているなら別に難問でもないが、知られている事実知りたくない？フーリエ級数です。入試問題にフーリエ級数まで出始めたか、と思ったが、Wikipedia にはバーゼル級数の和 $\sum_{n=1}^{\infty} \frac{1}{n^2}$ が $\frac{\pi^2}{6}$ と

なる証明にフーリエ級数を使ったものがちゃんと出ている。

フーリエ展開は、積分可能な関数 $f(x)$ は $f(x) = a_0 + b_1 \sin x + a_1 \cos x + b_2 \sin 2x + a_2 \cos 2x + \dots$

と級数展開されるといもの。ここでは、関数 $f(x) = x$ は奇関数だから、 $x = b_1 \sin x + b_2 \sin 2x + \dots$

$$\text{ただし, } b_n = \frac{1}{\pi} \int_{-\pi}^{\pi} f(x) \sin nx dx = \frac{1}{\pi} \int_{-\pi}^{\pi} x \sin nx dx$$

テーラー展開とよく似てるんだよな。微分可能な関数 $f(x)$ は $f(x) = a_0 + a_1x + a_2x^2 + \dots$ と級数展開される。例えば、関数 $\sin x$ は奇関数だから、 $\sin x = a_1x + a_2x^3 + \dots$

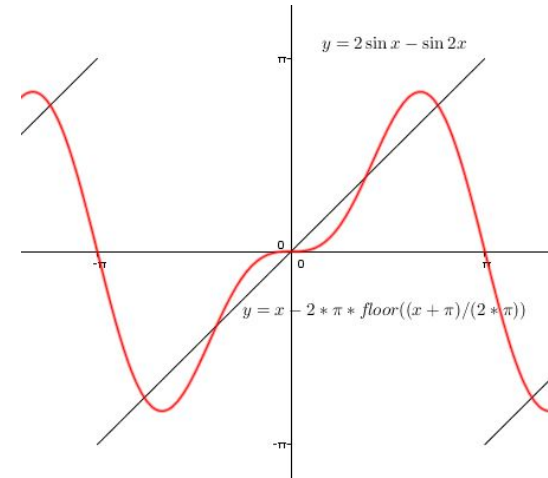
ただし、 $a_n = \frac{f^{(n)}(0)}{n!}$ 実際は $\sin x = x - \frac{x^3}{3!} + \frac{x^5}{5!} + \dots$ は余計な話だけど。

だから、 $x^2 = b_1^2 \sin^2 x + b_2^2 \sin^2 2x + \dots + 2b_1b_2 \sin x \sin 2x + \dots$ すると、 $\frac{1}{\pi} \int_{-\pi}^{\pi} x^2 dx = b_1^2 + b_2^2 + \dots$ と

というのが事実。

教科書には $\int_{-\pi}^{\pi} \sin mx \sin nx dx$ を求めよ、なんて問題がよくあるがこれにつながる。すっかりしました？

え？とっと知りたい？「高木貞治再読」のフーリエ級数の部分をどうぞ。



ちなみに、Geogebra では `TaylorPolynomial[sin(x), 0, 3]` なんて命令があって、下はそのグラフ。

